



さがえ区社協だより

No.41

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会

〒247-0005 横浜市栄区桂町279-29ピアハッピー栄（栄区福祉保健活動拠点）内

電話 045 (894) 8521

Fax 045 (892) 8974

平成27年2月1日発行

E-MAIL : office@sakaeku-shakyo.jp URL : http://www.sakaeku-shakyo.jp

承認：栄区連第123号

後見的支援制度のことをご存知ですか？

～障がいのある方が地域で暮らして暮らすために～

今は家族がいるけれど将来は不安…

ずっとこの地域で暮らし続けたい…

住みなれた地域で、安心して暮らすことを願う障がいのある人とその家族の想いを支えるために、平成22年10月からスタートした制度です。

？どんなことをしてくれるの？

- ・福祉施設の人や地域の人からなる「あんしんキーパー（※）」などが、制度に登録した人を日常生活の中で見守ります。またマネジャー・サポーターが定期的に訪問します。
- ・将来の希望や漠然とした不安などの相談を受けます。
- ・家事援助などの直接支援は行いません。

？利用できる人は？

- ・日常の見守りを希望する障がいのある18歳以上の人。
- ・将来の生活について相談したい障がいのある人とその家族。

？制度の利用に費用はかかるの？

- ・費用はかかりません。



（※）あんしんキーパー
役割については見守り（P2）をご覧ください。



あんしんマネジャー
登録者から将来の希望や目標を聞き取り、見守りの体制をつくります。また定期的な訪問をしながら、支援計画がうまく進んでいるかを本人と一緒に振り返ります。



あんしんサポーター
登録者の日中活動の場や暮らしの場への定期訪問を行います。

見守り

訪問

訪問



ご本人

ご本人

問合せ：栄区後見的支援室「とんぼ」（栄区桂町711 さかえ次世代交流ステーション内）

電話 045 (390) 0201

FAX 045 (892) 3933

SPコード（音声コード）は文字情報が入った二次元コードの一種で、専用の読取装置をあてると「音声で文字情報を聴く」ことができます。視覚障がいのある方にも広報紙の情報を提供できるように掲載しています。また、合わせて音声訳版をご用意しておりますので、ご希望の方は栄区社会福祉協議会までお問い合わせください。



後見的支援制度とは。。。

福祉施設等の専門機関だけではなく、日常的に関わることのできる地域の方々(あんしんキーパー)の協力を得ながら障がいのある方を見守る制度です。



? あんしんキーパーにはどうすればなれますか?

資格は不要です。簡単な登録手続きをお願いしています。

? あんしんキーパーの役割は?

障がいのある方の日常生活の見守りを行いながら、何か気づいたことがあった時には、「とんぼ」に連絡をするお手伝いをお願いしています。

例：新聞がたまっている、いつもカーテンが閉まっているなど。

! あんしんキーパーの方からお話を伺いました!

あんしんキーパーをお受けして何も変わったことはありません。普通の近所づきあいをさせていただいています。

! 後見的支援制度を利用されているご本人からお話を伺いました!

私のことを知ろうとしてくれて嬉しいです。地域で暮らしている私にとって見守りをしてくれる人の存在は大きいです。

あんしんキーパーの集う会

日 時：平成27年2月19日(木)午後1時30分～3時

会 場：ピアハッピー栄 多目的研修室

対 象：あんしんキーパー

見守り支援に関心のある地域の方

内 容：制度説明、あんしんキーパー活動報告、懇親会(グループでの意見交換)

申 込：氏名、連絡先を明記の上、FAXまたは電話でお申込みください。(当日も可)

申込先：栄区後見的支援室「とんぼ」(栄区桂町711 さかえ次世代交流ステーション内)

TEL: 045(390)0201

FAX: 045(892)3933

障がい者の日常生活の見守りには、地域の方々の協力が必要です。
あなたも障がいのある方の見守りのお手伝いをしてみませんか?
まずは「あんしんキーパーの集う会」に参加してみませんか?

上郷東
地区

発達障がい、知的障がいのあるご家族と災害時避難場所での対応を考える

上郷東地区見守りネットワーク全体会で研修開催

1月8日(土)野七里地域ケアプラザにおいて、発達障がいと知的障がいのある方を理解するための研修会【災害時避難場所での対応を考える】が開催されました。

昨年は「障がい児者支援・啓発ネット わっしょい」のメンバーをお招きし、疑似体験やロールプレイを通して、思いがけない行動を見かけた時の受け止め方や、声掛けの仕方などを学びました。

その後災害時避難場所では障がいのある方やそのご家族に、自治会・町会はどう対応したら良いのか、という声があがり、昨年に続き「わっしょい」をお招きしての研修となりました。

今回は日常の行動パターンにこだわりのある障がい者が、避難場所に来た時に想定される行動を、ロールプレイを交えながら学習したり、家族ならではの具体的な切実な話をうかがいました。

グループ討議では研修での気づきを参加者で共有するとともに、講師の方々のアドバイスを頂きました。ご本人や家族の気持ちに寄り添い、ほっとするような声掛けをすることが大切だと学びました。

上郷東地区の自治会・町会では、独自の防災体制が十分確立されていないのが現状です。第3期福祉保健計画立案に向けて、重点項目の一つに取り挙げて行ければと思います。(堀畑)



ロールプレイの様子



グループ討議の様子

第28回栄区社会福祉大会が開催されました

平成26年11月21日(金)第28回栄区社会福祉大会(主催:栄区社会福祉協議会・栄区内各地区社会福祉協議会)が栄区役所を会場に行われました。

第1部では、次のみなさんが表彰されました。(敬称略)

ボランティア活動功労

粋々サロン 輝~かがやき~	谷 宏治
花水木	中村 節子
ぶらっとオアシス	谷田 信夫

金品寄託功労

高橋 勝美
上山 由美子

福祉団体自主活動功労

平岩 正安	加藤 珠實	高永 幸子
小林 信治	大森 眞由美	國分 量子
増田 眞理	上浦 年子	大谷 正江

第2部では、「えびっど」による、発達障がい理解のための出前講座(パペット人形とパネルを使った寸劇)を実施しました。

「えびっど」とはEvery Person is Differentの頭文字から取った造語です。日本語訳の「すべての人は違う=十人十色」という趣旨から名付けられました。栄区自立支援協議会作業部会のメンバーを中心に保護者の皆さんの協力により生まれたチームです。

出前講座では、発達障がいの理解や、支援が必要な方々について考えるきっかけづくりを行っています。障がいの有無にかかわらず、「人はみな違う」ということを改めて確認するとともに、接し方を工夫することで、お互いに心地良く過ごせるということを体感する機会となりました。

また、第2部の後半ではご家族へのインタビュー形式によるシンポジウムが行われました。お母さん達の生の声から、以前に比べて制度の充実が図られる一方、学校を卒業した後の施策の更なる充実が切望されているということが分かりました。



シンポジウムの様子



出前講座の様子

会員団体 活動 訪問記

手話サークル「希」^{のぞみ}

手話サークル「希」は聴覚障がい者と健聴者が共に生きる仲間として理解を深め、協力する事を目的として平成元年に発足しました。会員数は健聴者(難聴・中途失聴を含む)50名、聴覚障がい者(会友)15名の合計65名です。毎週火曜日10時からピアハッピー栄で常時40名を超える仲間が参加して活動しています。

A~Fの6グループに分かれて先生役の聴覚障がい者1名と健聴者の通訳1名がリーダーとなって、手話を駆使しての話し合いを50分行き、10分間の休憩の後、メンバーを組み替えて更に50分話し合いを続けます。60分の昼食交流会があって、希望者は13時から別室で聴覚障がい者と手話で話し合うメニューが用意されています。取材中に室内の電気が時々消えることがありました。普段はあまり体験しない出来事でした。それは、「注目!」「ちょっと話を聞いてください!」などみんなの注意を惹く合図でした。

サークルの年間行事として対外的には小学校での福祉教育、ふれあい運動会のお手伝い、区民まつりのぼらんていあ村やようこそ・であい広場などで手話体験を行ったり、バザーブースを開設したりして、その収益金は聴導犬協会へ寄付をしています。また、5年前からサークル内に手話コーラス部門を設け、高齢者施設などへ出かける活動も始めています。独自の行事としては、春秋のレクリエーション、講演会、クリスマス会などがあります。

区社協との共催で毎年5月から手話講座(全10回)を開講し、講座終了後は「希」の会員になって手話を続けていくことを勧めています。会員の何人かに手話を始めた動機についてお聞きしました。

- ・男性会員Aさん「会社に聴覚障がいの方がいた。手話が出来ればコミュニケーションが取れ、いい人間関係が保てたのに…との残念な気持ちから定年後に始めた」
- ・男性会員Bさん「聴覚障がいの孫の学校への送迎などで忙しそうにしている親を見て、手話を習って孫の世話を少しでも親の負担を減らしてやろうと思って始めた」
- ・女性会員Cさん「郵便局で手話で楽しそうに会話している2人を見て素晴らしいと感じた」
- ・女性会員Dさん「街角で手話をやっている人を見かけたので中2の息子と一緒に習い始めた」

尚、サークルの中から資格を取得して手話通訳士になった人が5人いると伺いました。

「手話言語条例が県議会に上程されたことにより、聴覚障がい者や手話が更に身近な存在になることを願っています」と熱く語る白川代表でした。

(堀田・木村(知))



区社協事業のご案内

ボランティア講座

障がいの
ある方への
外出支援

日時:平成27年2月27日(金)
午前10時～12時
内容:知的障がい、発達障がいの知識や関わりを学びます。
参加費:無料
対象:18歳以上で、障がい児者に関わるボランティアに関心のある方
定員:先着30名
申込方法:氏名・電話番号を明記の上、FAX・電話で2月23日(月)までにお申込みください。

第16回 ようこそ・であい広場

栄区福祉保健活動拠点を利用しているグループによるおまつりです。
栄区内のボランティアグループ・当事者グループ・障がい者施設等の活動PRや地域との交流を図るため開催します。
日時:平成27年3月7日(土)
午前10時～午後2時
内容:バザー(リサイクル品・手作り品)
食べ物いろいろ模擬店
パソコン体験コーナー
子どもの遊びコーナー(景品もあるよ!)

主催:ようこそ・であい広場 実行委員会

平成27年度 さかえ ふれあい助成金 日赤地域福祉活動助成金 説明会

さかえ ふれあい助成金と日赤地域福祉活動助成金は、区民同士の支え合い活動によるボランティア活動など、地域福祉保健に貢献する事業の支援を目的とします。

募集にあたり、説明会を次のとおり開催します。

日時:①平成27年3月12日(木)午後2時～
②平成27年3月13日(金)午前10時～
(①、②とも、同一内容です)

申込方法:団体名・参加者氏名・電話番号・希望日を明記の上、ハガキ・FAX・電話で、2月27日(金)までにお申込みください。

※会場の都合上、各団体1名の参加をお願いします。
※助成金の申込みは、平成27年4月1日(水)～4月30日(木)です。
申込みされる場合は、なるべく説明会にご参加ください。

横浜子育てサポートシステム入会説明会

「子どもを預けたい人」と「子どもを預かりたい人」が会員として登録し、会員相互の信頼関係のもとに子育ての支援を行います。

会員になるには、入会説明会に参加後、会員登録が必要です。「預かりたい人」は3日間の研修があります。

日時:平成27年2月19日(木)、3月19日(木)
4月16日(木)、5月21日(木)
6月18日(木)、7月16日(木)

各日 午前10時30分～11時30分
申込方法:前日までに電話でお申込みください。

※当日は、別室での保育(無料)も行っておりますのでご希望の方は、同時にお申込みください。

いずれも会場はピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内となります。

尚
合
せ
申
込
先

栄区社会福祉協議会 栄区桂町279-29
TEL:045(894)8521
FAX:045(892)8974

区社協ホームページでも事業紹介をしています。

詳しくはコチラ

栄区社協

検索

本誌は、区民の皆様から寄せられた共同募金の一部を用いて発行し、自治会・町内会のご協力でお配りしています。

【栄区社会福祉協議会広報編集委員】
豊田(環田 賢二) 笠間(木村 祐子)
小奇ヶ谷(谷保 ゆり) 本郷中央(木村知恵子)
本郷第三(佐藤喜久子) いでたち(二村 忠孝)
上郷西(谷山浩太郎) 積み木(平岩 耕子)
上郷東(堀畑 朋子) Cosmos(比佐いづみ)

【編集後記】
東日本大震災発生(M9.0)から間もなく4年。地球は巨大地震活動期に突入と言われ、2004以降現在までに起きた巨大地震(M7.5以上)は実に30件以上にのぼる。昨年わが国も自然災害が多発、台風による突風・竜巻・大雨洪水・土砂崩れそして御嶽山噴火と日常的に発生している。「備えあれば憂いなし」。大山町会では「要援護者支援制度」「町会連絡カードの整備」「総合防災訓練」「防災備蓄倉庫完備」「家具転倒防止講座の受講」等々、現実にも即した活動を実施している。何をやるにしても一番大事なのは日頃よりご近所とのお付き合い・コミュニケーションだ。栄区の高齢化率は高いが、幸い福祉活動が盛んであると同時に、生涯学習活動も全区的に行われている。高齢者がいつまでも元氣であることは喜ばしい限りである。(谷山)

